

「湘南鎌倉総合病院 藤沢口」



バス停が新設されました!

場所：D棟（先端医療センター棟）前



D棟（先端医療センター棟）を出てすぐの所にあります。

A棟（本館）B棟（救命救急センター・外傷センター棟）の裏手にあたります。

バスを降りたら



D棟（先端医療センター棟）出入口へ



A棟・B棟・C棟へは矢印の方向へ

バスに乗るとき



突き当たりまでまっすぐ進む



茶色の扉が目印



バス停へ到着!!



※従来の藤沢駅南口から病院までをつないでいる江ノ電バス（ミニバス）も継続して運行しております。



時刻表などの情報は
こちらのQRコード
からご覧ください!

謹賀新年 — Happy New Year —

特集 新年のご挨拶

認定看護師 新たなメンバーのご紹介
保健だより Vol.11 ~知らないうちに低温やけど~

お知らせ バス停が新設されました!

撮影者：看護部 島根 容子
撮影場所：八ヶ岳連峰主峰 赤岳



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL:0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190
ホームページアドレス: <https://www.skgh.jp/>

(直通) 予防医学センター:0467-44-1454
人工関節センター:0467-46-7172
しょうなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

あけまして おめでとうございます



湘南鎌倉総合病院 院長
小林 修三



質の高い医療。やさしい病院。 弱者を置き去りにしない先進医療。

皆様あけましておめでとうございます。当院は救急搬送件数で我が国屈指の病院です。しかし、この30年以上にわたって常に進化を遂げて来ました。2021年4月には先端医療センター棟がオープンし、こちらに開設した予防医学センターでは、未病の段階から早期でのがんや心血管障害、認知症の発見に努めています。また、がん診療ではPET/CTや全国に19台しかない陽子線治療装置も活躍しています。当院はこのほか、救命救急センター・外傷センター棟や心臓センターもオープンし、多くの医師が協力して治療にあたる体制を整えました。ロボット手術・臓器移植センターも開設し、婦人科・泌尿器科・外科などがダヴィンチを用いて今後を見据えた医療をおこなっています。腎臓病総合医療センターではアフレスニスや血液透析・腹膜透析・腎移植など全てを網羅した腎不全治療をおこなえます。

さらには、近年増加の一途をたどる免疫アレルギー疾患に対しても、積極的な治療展開を始めています。腎不全・肝不全・脊髄損傷・足壊疽などの障害臓器に対して幹細胞を用いた再生医療もおこなわれています。なお、当院は文部科学省認可の科学研究費申請のできる病院であり、隣接しているiPark内に湘南先端医学研究所を併せ持ち、基礎研究も盛んです。特許の申請も既におこなわれているほか、治験にも積極的に取り組んでいます。安全・安心で質の高い医療、やさしい病院作り、弱者を置き去りにしない先進医療など、常に進化する中でFor the patientで取り組んでいます。

変化を恐れずチャレンジ

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年も新型コロナウイルス感染症の対応が続く中で新年となりました。地域の皆様には、日々の感染拡大防止にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

ここ数年の平時と異なる状況を通して、看護における価値観の変容により多くの学びを得ることができました。一刻も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりですが、今後も変化を恐れずに新しいことへチャレンジし続け、役割を發揮できるよう取り組んで参ります。本年も、地域の皆様から信頼していただける病院となるよう看護部職員一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



看護部長
鵜川 美穂

事務長
芦原 教之



進化した「しょうかま」地域の皆様と共に

皆様あけましておめでとうございます。昨年は、2017年より進めて参りました当院の増築工事が竣工し、11月にグランドオープンを迎えることができました。工事期間中、患者様ならびに地域の皆様へはご迷惑をお掛け致しましたが、長きにわたりご協力頂き誠にありがとうございました。

また、新型コロナウイルス感染症における当院の取り組みにつきましても、ご理解をいただきご支援いただきましたこと、深く感謝申し上げます。神奈川県より運営委託を受けました「神奈川県臨時の医療施設(180床)」は、昨年9月30日を持ち終了となりました。今後は、増築棟に拡大移転し感染症対応も可能となりました救命救急センター(ER)と、その6階に新興感染症対応病床(11床)を新たに確保し、引き続き当院の役割を果たしていく所存です。

進化した“しょうかま”で、これからも地域の皆様に安全・安心な医療を提供すると共に、地域の皆様と共に歩んで行けましたら幸いです。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願申し上げます。



C棟
放射線腫瘍科や歯科
口腔外科、頭頸部外科
の外来がある。

A棟
ほとんどの診療科
の外来をおこなっ
ている。病棟、お産
センター、患者さん
のサポートをする地
域総合医療センター
などがある。

D棟
2021年4月にオー
プンした先端医療セ
ンター。2Fには男女
別のフロアを兼ね備
えた予防医学センター
(人間ドック)がある。
また、画像診断の
PET/CT装置や陽子
線治療装置も完備。
未来を見据えた再生
医療センターも稼働し
ている。

B棟
2022年4月にオー
プンした救命救急セ
ンター・外傷センター。
救急外来、発熱外来
や外傷整形外科の外
来・手術・リハビリテ
ーションなどをおこな
っている。



認定看護師

新たなメンバーのご紹介



しょうなんメール Vol.170 (2021年10月号) から毎月、全12回に渡ってさまざまな認定看護師をご紹介してきました。今月号は、2022年度に新たに仲間入りしたメンバーに

“認定看護師をめざしたきっかけ”を聞いてみました!

もっと看護できることがある!

新卒でICU配属となり、超急性期の重症度の高い患者さんの看護に携わってきました。救命できたとしても合併症を起こして入院生活が長引き、元の生活には戻れない患者さんに関わる中で、もっと看護できることがあるのではないかと、今私たちがおこなっている看護は本当に正しいのかと考えるようになったのがきっかけで、認定看護師の道に進みました。

認定看護師の資格取得後15年が経ち、現在はICUを離れましたが、集中ケア分野で学んだことは、すべての領域で実践する看護につながっていると実感しています。



坂本 孝江 Takae Sakamoto



集中ケア認定看護師

集中治療室での関わり方が重要!

熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践したいと感じたことがきっかけです。集中治療室では、重症患者さんから終末期患者さんまで幅広く入院しており、その多くは身体的や精神的な病態変化に苛まれているため、看護の力が重要になります。

特に、入院前のQOL(生活の質)を目指す上では集中治療室での関わり方が重要になるため、専門的な知識や技術を提供できるように努めています。

豊川 淳 Jun Toyokawa



自信を持ったスタッフを育成!

看護師3年目の時に直面した同年代女性の死がきっかけでした。この経験を通して、自分の知識や技術、家族看護の未熟さを痛感しました。救急看護認定看護師として、自分自身の確かな知識・技術の習得はもちろんですが、命の危機に直面した、患者さんやそのご家族を守るスタッフ、自分の看護に自信を持ったスタッフを育成するためにも、日々指導・活動をしていきたいと考えています。

海稻 勇記 Yuki Kaine



救急看護認定看護師



感染管理認定看護師



スタッフに対しても安全な環境を!

手術室では安全・安楽な手術提供のため、感染に関する知識が必要となります。自分が指導的立場になった際、自信を持って伝えられるようになりたい、感染管理について学びを深めたいと思ったことがきっかけです。コロナ禍で感染管理の重要性をさらに感じ、患者さんだけでなく共に働くスタッフに対しても安全な環境を提供できるように知識・技術をより深めたいと思いチャレンジしました。

中川 加央里 Kaori Nakagawa



手術看護認定看護師

最良の医療を提供する!

手術室看護師は、周術期(手術前、手術中、手術後)を通して、患者さんやそのご家族のケア、支援をおこなっています。主に手術中を中心として看護をしており、患者さんの手術中のおかれている状況をよく理解しています。

それゆえに術前と術後に患者さんとより多くの時間を共にする手術看護認定看護師が、病棟看護師との連携をさらに深めることで周術期全体の看護の質が向上するのではないかと考えたことがきっかけです。自分自身に不足している専門的知識や技術を学び、最良の医療を提供できるように努めています。

稲葉 太樹 Taiki Inaba



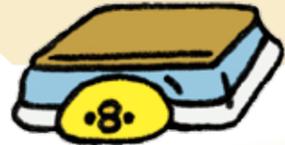


予防医学センター

保健だより



保健師 尾崎 洋子・鈴木 歩唯



あたたかいな〜で、 第11回 知らないうちに「低温やけど」

冬になるとさまざまな暖房グッズを活用し暖をとっていると思います。しかし、使用方法を誤ったり、直接肌に当たっていることで低温やけどにつながる可能性があります。低温やけどを防ぎ、正しく暖房グッズを使用しましょう！

1. 低温なのにやけどとは…？

「低温やけど」とは、44～50℃（あたたかくて心地よいと感じる）のものに長時間触れ続けることで起こるやけどのことをいいます。熱湯や火などに触れて起こる高温のやけどとは違い、皮膚に直接44～50℃前後のものが数分～数時間にわたって触れ続けることで起こり、50℃近いものだと数分触れているだけで低温やけどになることもあります。皮膚が薄い方の場合には低温、短時間でもやけどを起こすリスクが高くなるなど、個人差があります。

2. 低温やけどの症状は？

一番多いのは“ちょっと赤くてヒリヒリする”程度で、1日ぐらいで水ぶくれができます。じわじわと皮膚の深い部分まで達するので痛みが感じにくく、重症化する傾向があります。



なりやすい人の 特徴

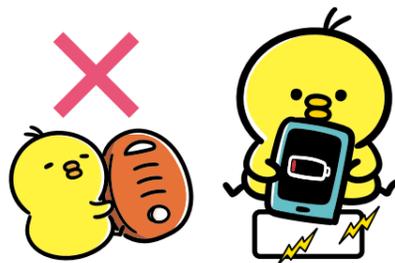
- 皮膚の薄い高齢者、乳児
- 寝返りができない方
- 知覚や運動能力に麻痺のある方
- 循環不良や神経障害のある方
- 体の感覚が鈍くなっている方

3. 注意することは？

「カイロ」「湯たんぽ」「電気毛布」「電気あんか」「電気カーペット」を使用する時には…

- ① 肌に直接あてない！
- ② 身体と同じ部位に長時間触れない！
（タオルやカバーで包んでいても長時間身体に接触することで、低温やけどを引き起こす原因となります）
- ③ 寝床が暖まったら電源を切ったり、設定温度を下げる！

携帯の充電器も要注意!!!



※充電中に本体や充電器が熱くなって低温やけどにつながった事例もあります。携帯電話やモバイルバッテリーも注意が必要です。

低温やけどになったらどうする？

STEP ①

まずは、暖房器具等の原因となるものを速やかに皮膚から離して、水道水などで20分程度冷やします。

低温やけどの場合は水泡ができることが多いので、水泡をつぶさないように注意し、清潔に保ちましょう。やけどの深さにより治療方法が異なります。



STEP ②

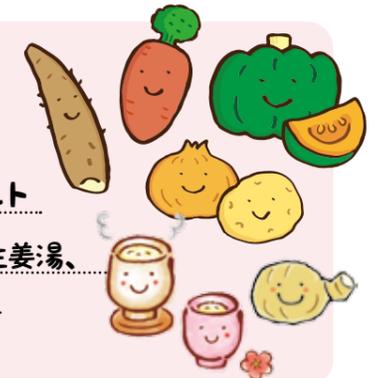
自己判断せずに、医療機関を受診しましょう。
（お近くの皮膚科まで）



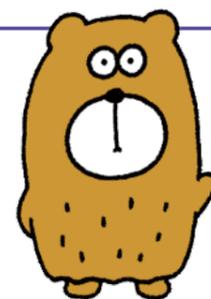
最後に自分でできる寒さ対策

- マフラー、手袋、靴下を使用して首、手首、足首を温めましょう！
- 食べ物や飲み物は体を温める効果のある下記の食品がおすすめです！

- ① 食 材 → かぼちゃ、人参、ごぼう、玉ねぎ、蓮根、じゃがいも、葱、唐辛子、生姜、にんにく
- ② 発酵食品 → 味噌、納豆、醤油、漬物、チーズ、ヨーグルト
- ③ 飲 み 物 → 紅茶、ウーロン茶、タンポポ茶、ごぼう茶、生姜湯、生姜紅茶、ココア、黒豆茶、ワイン、日本酒



※お酒はほどほどにしましょう。



Warm life... 温活で寒さ知らずに!

『僕の温活』は湯船に毎日入るようにしていることや、温かいスープを飲んでいるよ。低温やけどにならないように注意をして暖かくしてお過ごしください。